

平成 26 年度 九州ソーラーネットワーク (SONEQ) 活動概要 (サマリー)

平成 26 年度の活動目標

○非住宅向け PV システム普及の加速

- ・工場や郊外型店舗、屋根、未利用地など、これまでわが国での普及が十分に進んでいなかった「非住宅」向けの太陽光発電システムの普及を支援します。

○地場企業による関連製品開発

- ・九州の地場企業による、太陽光発電産業に関連する製品やサービスの開発をサポートします。

○発電システム導入方法の多様化への対応

- ・発電システム導入方法の多様化に対応し、市民、農業法人、地場企業等、これまで発電システムを導入しにくかった主体に対し、導入を支援します。
- ・平成 26 年 5 月に「農山漁村再生可能エネルギー法」が施行され、農地での利用のニーズが高まると想定されますので、SONEQ としても導入を支援する取組を行います。

平成 26 年度事業をとりまく環境変化

○太陽光発電に係る事業環境の変化

- ・本年度は固定価格買取制度のプレミア期間の最終年度であり、新たな展開を検討すべく、セミナーや研究会を実施します。

○経済産業省における補助金の削減（見直し）

- ・補助金の削減見直しに対応し、事業の効率化を実施します。また、外部資金を獲得し、サービスの維持を図ります。
- ・ただし、会員全体のニーズの低い一部のサービス事業については、削減を行います。

○会員数の増加

- ・会員数は増加傾向にあるため、ニーズに対応した情報発信（政策情報の発信など）を強化します。

平成 26 年度 SONEQ の主なサービス内容

(1) 普及拡大への取組

① ネットワーク基盤形成

- ネットワークの拡大（総会・役員会の開催等、SONEQ の基盤構築）
- SONEQ 会員向け講演会
- 再生可能エネルギー先端技術展 2014 におけるセミナー開催

・太陽光発電に関する動向等に加え、太陽光以外の再生可能エネルギーに関する講演も開催予定
○九州クリーンエネルギーフォーラムにおけるセミナー開催

- ・対象となるクリーンエネルギーは、再生可能エネルギー（太陽光、風力、地熱、バイオマス、中小水力）、海洋エネルギー、水素エネルギー及びスマート化技術など

○各種広報活動

- ・会員限定情報の充実。正会員に対しては、最新の政策情報を限定配信
- ・SONEQ 会員やアドバイザー（自治体、自治体の産学連携支援組織、産総研、NEDO 等）の協力によりコンテンツを収集

※昨年度まで実施していた「先進地視察ツアー」を取りやめます。

②展示会開催・出展

OPV EXPO2015 への出展補助

- ・「PV EXPO2015（東京）」（主催：リード・エグジビション ジャパン（株））での出展補助を実施（総予算 20 万円）。

○九州クリーンエネルギーフォーラムにおけるビジネスマッチング

- ・各地域のニーズに応じて、クリーンエネルギー分野に係るビジネスマッチングを実施

※PV EXPO2015 への出展については、SONEQ が幹事とならず、出展を補助します。

(2)産業振興への取組

OSONEQ ものづくり技術・ビジネスモデル研究会

- ・関連製品の開発や技術の高度化、新しいビジネスモデルの提案・実証について、正会員希望者により構成される研究会を開催。

○事業化アイデアコンテスト

- ・新製品や新ビジネスのアイデアのイメージは持っているが、それを検討事項として具体化していない/出来ていない正会員企業を対象に、アイデアのアピールの場を設定。審査員は「検討事項の具体化」のアドバイスを実施
- ・アドバイスを受けた正会員は、その結果を用いて研究や実証、事業化への取組を進める

○九州クリーンエネルギーフォーラムにおけるビジネスアライアンス研究会

- ・九州全域の企業・団体等から、クリーンエネルギー分野における新たなビジネスアライアンスのアイデアを公募・選定。具体的なビジネス展開等に向けた検討を実施（2テーマ程度、各3回程度の開催を想定）

○他機関の支援内容等の紹介・連携支援

- ・SONEQ 役員会アドバイザーに就任する組織、SONEQ 正会員との連携。組織が提供する補助金等支援内容の紹介等を実施。

○コミュニティファンド活用型太陽光発電システム整備に対するサポート

- ・コミュニティファンド活用による発電システムの実施・普及をサポート。会員企業に新たなビジネスチャンスを提供

平成 26 年度 九州ソーラーネットワーク（SONEQ）概要

九州ソーラーネットワーク（SONEQ）事務局
 （SONEQ事務局：公益財団法人九州経済調査協会）

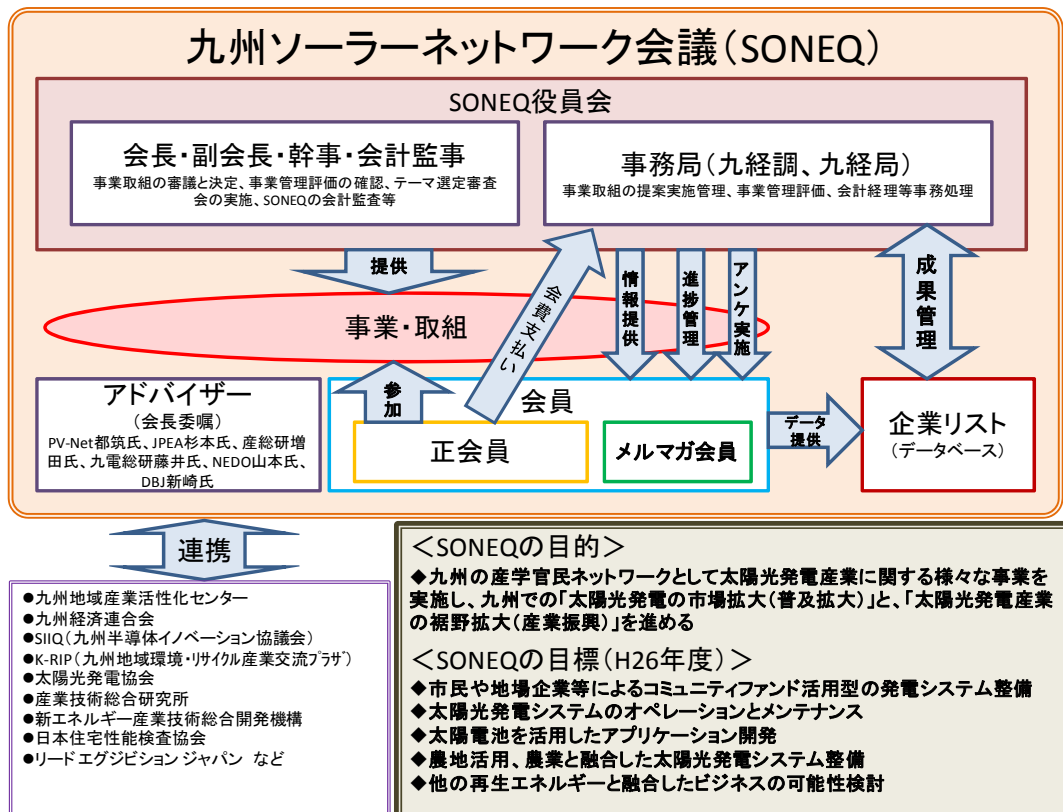
事業の目的及び内容

本事業は、九州の太陽光発電産業の企業群や教育機関、行政等が一体となった産学官民によるネットワーク組織「九州ソーラーネットワーク（Solar NEtwork in Q-shu：ソーネック(以下 SONEQ)）」の設立と、SONEQ を通じた様々な事業や取組を実施することで、九州における太陽電池の市場拡大や太陽光発電産業の裾野拡大等を進めることを目的とします。SONEQ は平成 23 年 6 月に設立され、本年度で 4 年目を迎えます。

本年度は固定価格買取制度のプレミアム期間の最終年度となり、新たな展開を検討すべき時期を迎えています。一方、太陽電池や発電システム設置コストの減少により発電システム導入方法の多様化が進みつつあります。また、メガソーラーを中心に太陽光発電システムの建設が広がることに伴い、発電量の維持管理への関心もさらに高まっています。

そのため、本年度は、昨年度に引き続き「市民や地場企業等によるコミュニティファウンド活用型の発電システム整備」「太陽光発電システムのオペレーションとメンテナンス」「太陽電池を活用したアプリケーション開発」等のテーマに加え、「農地活用、農業と融合した太陽光発電システム整備」「他の再生エネルギーと融合したビジネスの可能性検討」に関する活動にも力を入れる予定です。

平成 26 年度 SONEQ の活動概要



平成 26 年度の活動目標

SONEQ の活動目標は、前述の通り「太陽光発電の市場拡大（普及拡大）」と、「太陽光発電産業の裾野拡大（産業振興）」の2つですが、より具体的な目標は、以下の3つを設定しています。

■非住宅向けPVシステム普及の加速■

工場や郊外型店舗、屋根、未利用地など、これまでわが国での普及が十分に進んでいなかった「非住宅」向けの太陽光発電システムの普及を支援します。

- 主な平成 24 年度実績
 - SONEQ 研究会「太陽光発電システムの遠隔監視・保守サービスに関する研究会」の開催
 - 第 2 回 SONEQ 会員向け講演会「メガソーラーの法務と実務」
 - PV 九州 2012 の開催
 - 平成 24 年度太陽エネルギー分野知財&PV 九州 2012 セミナーの開催
 - PV EXP02013 への出展（非住宅向けシステム設置におけるスパイラル杭の展示・PR）
 - SONEQ 事業化アイデアコンテストの開催
 - 「太陽光発電システムの設置とメンテナンスに関するアンケート」の実施

- 主な平成 25 年度実績
 - 第 1 回 SONEQ 会員向け講演会「メガソーラー運営における実態と今後の課題」
 - 第 2 回 SONEQ 会員向け講演会「メガソーラー運営におけるリスクとその評価」
 - SONEQ 研究会「再生可能エネルギー利用可搬型電動自転車ポート開発及び普及に関する研究」の開催
 - PV 九州 2013、PV 九州 2013 セミナーの開催
 - PV EXP02014 への出展（非住宅向けシステム設置におけるスパイラル杭、携帯型&組込型太陽電池検査・診断装置「S-KODES」の展示・PR）
 - SONEQ 事業化アイデアコンテストの開催

■地場企業による関連製品開発■

九州の地場企業による、太陽光発電産業に関連する製品やサービスの開発をサポートします。

- 主な平成 24 年度実績
 - SONEQ 研究会「一般家庭向け太陽光発電システムの保守メンテナンス事業研究会」の開催
 - 先進地視察ツアー
 - 第 1 回 SONEQ 会員向け講演会「太陽電池システム関連産業による今後の展開とその可能性」

- PV EXP02013 への出展（携帯型&組込型太陽電池検査・診断装置「S★KODES」の展示・PR、家庭用パワーコンディショナーチェッカーの展示・PR）
- SONEQ 事業化アイデアコンテストの開催

● 主な平成 25 年度実績

- SONEQ 研究会「一般家庭向け太陽光発電システムの保守メンテナンス事業研究会」の開催（（一社）太陽光発電アフターメンテナンス協会（AMS 協会）設立）
- SONEQ 研究会「再生可能エネルギー利用可搬型電動自転車ポート開発及び普及に関する研究」の開催
- 先進地視察ツアー
- 第 2 回 SONEQ 会員向け講演会「太陽光発電・給湯一体化装置（BINARY SOLAR）の事業化～太陽エネルギーの高効率利用を目指す」「品質重視のモジュール発注「部材指定」のご提案」
- PV EXP02014 への出展（携帯型&組込型太陽電池検査・診断装置「S★KODES」の展示・PR、家庭用パワーコンディショナーチェッカーの展示・PR）
- SONEQ 事業化アイデアコンテストの開催

■**発電システム導入方法の多様化への対応**■

発電システム導入方法の多様化に対応し、市民、農業法人、地場企業等、これまで発電システムを導入しにくかった主体に対し、導入を支援します。

また、平成 26 年 5 月に「農山漁村再生可能エネルギー法」が施行され、農地での利用のニーズが高まると想定されますので、SONEQ としても導入を支援する取組を行います。

● 主な平成 25 年度実績

- 市民ファンドを活用した再生可能エネルギー導入促進に関する勉強会 in 唐津、in 八代の開催（グリーン電力基金事務局からの寄付金により事業を実施）
- PV 九州 2013 セミナー トピック講演「新たな参加者を増やす太陽光発電所～小規模分譲ソーラーによる新出光の事業展開～」(株式会社新出光)
- PV 九州 2013 セミナー トピック講演「再生可能エネルギーによるコミュニティ活性化～大分県由布市鳴沢地区の挑戦～」(大分県由布市 鳴沢環境部会)

正会員に対して SONEQ が提供するサービス（事業）

※本資料は、平成 26 年度 SONEQ 第 1 回役員会・総会前の資料です。サービス（事業）内容は、役員会・総会後に変更される可能性があります※

△▲情報収集を進めたい方▲△

業界動向の把握、太陽光発電産業で新たなビジネスの立ち上げ、協力できそうな企業探し、国や地方自治体の支援内容のチェック等、情報収集を進めたい方に対して、SONEQ は、以下のメニューを提案します。

- 各種情報受発信 （詳細参照：9 頁）
 - 太陽光発電に関する「最新政策情報」の発信 **正会員限定**
 - 企業データベースの利用 **正会員限定**
 - ホームページやメルマガでの企業紹介
- SONEQ 会員向け講演会 **正会員無料** （詳細参照：8 頁）
 - 関連企業や有識者を招聘して年 1～2 回開催します。（メルマガ会員は有料）
- 九州クリーンエネルギーフォーラム事業（詳細参照：9 頁）
 - 再生可能エネルギーに関するセミナーを九州各県で実施

△▲事業化に向けた検討事項のイメージを固めたい方▲△

新ビジネスの立ち上げ時において、事業化のアイデアイメージは持っているが、イメージをどう具体化すればいいか、具体化のために何をすればいいのかを模索している方に対して、SONEQ は、以下のメニューを準備しております。

- 事業化アイデアコンテストへの参加 **正会員限定**（詳細参照：10 頁）
 - 具体化手前のアイデア持ち込み、有識者（SONEQ 役員会メンバーの一部）の意見を得ることが出来ます。

△▲事業展開での協力者探し、検討事項の研究を進めたい方▲△

ビジネスのアイデアを持ち、検討事項の具体化も進んでいるが、事業展開での協力者探しや、検討事項を更に深掘りして調査・研究を指向している方に対して、SONEQ は以下のメニューを準備しております。

- SONEQ ものづくり技術・ビジネスモデル研究会 **正会員限定**（詳細参照：10 頁）
 - 研究テーマに公募できます。採択されれば、講師招聘費や図書資料購入費が活用できます。また、SONEQ 会員との連携機会を創出します。講師招聘や会場設営等は SONEQ 事務局が実施します。
 - 選定された研究会へ参加することが出来ます。

- 九州クリーンエネルギーフォーラム事業（詳細参照：10 頁）
 - クリーンエネルギー分野における新たなビジネスアライアンスのアイデアを公募・選定し、研究会を開催（2 テーマ程度、各 3 回程度の開催を想定）。

△▲事業化を目指した試作やテストマーケティングを進めたい方▲△

新ビジネスの立ち上げ時において、試作品の製作やテスト販売（テストマーケティング）を進めたい方に対して、SONEQ は、以下のメニューを準備しております。

- 他機関の支援内容等の紹介・連携支援 **基本的に正会員中心**（詳細資料：11 頁）
 - SONEQ 事務局が相談を受けた上で、内容次第で下記の組織をご紹介します
 - ◇ （独）産業技術総合研究所
 - ◇ （独）新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
 - ◇ （株）日本政策投資銀行
 - ◇ （独）中小企業基盤整備機構（中小機構）
 - ◇ （財）北九州産業学術推進機構 など

※詳細については、まずは SONEQ 事務局にご相談下さい

△▲自社の商品・サービスについてビジネスマッチングを進めたい方▲△

自社の商品・サービス・アイデアを用いた他社との商談や意見交換等、主に B to B のビジネスマッチングを進めたい方に対して、SONEQ は、以下のメニューを準備しております。

- PV EXPO 2015（東京）での出展補助 **正会員より出展者を募集**（詳細資料：9 頁）
 - 東京で開催される PV EXP02015 に出展する企業グループに対し、20 万円を上限に補助を行います。
 - SONEQ 事務局より出店希望者を募り、幹事を選定した上で、補助を行います。補助金額は、出店希望企業の数に応じて事務局で検討します。
- 九州クリーンエネルギーフォーラム事業（詳細参照：10 頁）
 - クリーンエネルギー分野に係る中小企業向けの個別商談マッチングを実施（各県 1 回、合計で 7 回程度の開催を想定）。
- コミュニティファンド活用型太陽光発電システム整備に対するサポート（詳細参照：11 頁）
 - コミュニティファンド活用による発電システムの実施・普及をサポートします。ファンド運営に関する支援に加え、発電事業や部材・施工・メンテナンス等の分野に SONEQ が積極的に協力し、会員企業に新たなビジネスチャンスを提供します。

SONEQ サービス体系図



平成 26 年度 SONEQ の主なサービス内容（詳細）

平成 26 年度は、昨年度までに培った SONEQ のネットワークを維持しつつ、事業化に繋がるアイデアの新たな「芽」の発見と、昨年度発見した「芽」を研究会化することによる企業アライアンスの構築・製品製作支援、昨年度の研究会案件の事業化/システム化支援などの事業を展開します。また、FIT プレミア期間終了後の新たな展開を支援するため、太陽光以外の再生可能エネルギーを含めた事業化の可能性検討事業、農地活用等の可能性検討事業も実施します。

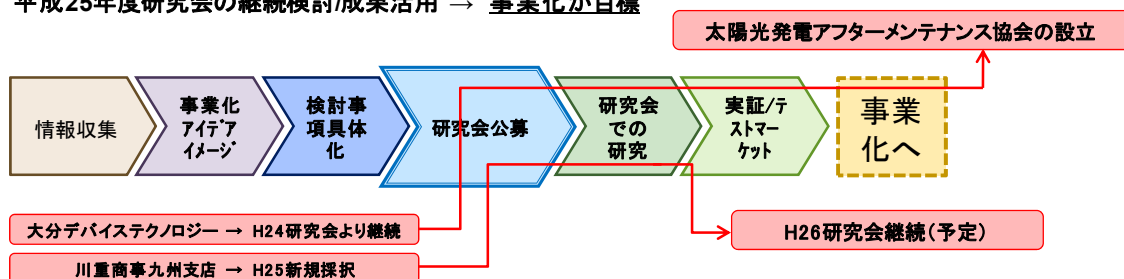
平成 25 年度末に実施した正会員向けのアンケート調査によると、正会員は「政策、業界情報の入手（70.0%）」「正会員限定ニュースの入手（43.3%）」「会員向け講演会への参加（40.0%）」といった項目が高くなっています。昨年度に比べ、情報収集に関係する関心の高まりが顕著となっているため、本年度も、政策、業界情報の入手と迅速な配信に努めます。

同時に、正会員の皆様の事業化を加速させるため、「事業化アイデアコンテスト」の継続開催や、平成 25 年度 SONEQ 研究会成果の事業化支援等を通じ、事業化やビジネスマッチングを進める事業にも取り組みます。

※事業の展開にあたっては、当補助金に加えて、SONEQ の会費を充当します※

情報収集から事業化へ至る展開イメージと SONEQ 事業との関係

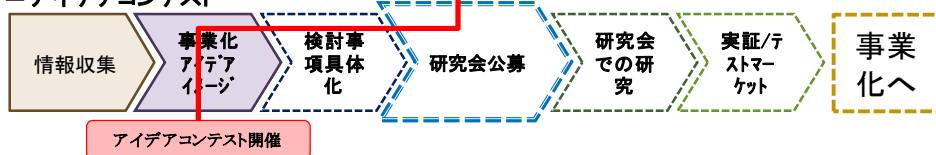
平成25年度研究会の継続検討/成果活用 → 事業化が目標



平成26年度研究会



検討事項具体化前 = アイデアコンテスト



(1) 普及拡大への取組

① ネットワーク基盤形成

■ ネットワークの拡大（総会・役員会の開催等、SONEQの基盤構築） ■

- 全ての個別事業の受け皿となるSONEQの維持拡大
- 総会を年1回、役員会を年2回開催。総会では事業や取組の承認、役員会では本年度と次年度の事業・取組を決定。
 - 総会と第1回役員会は6月下旬、第2回役員会は12月～1月を目途に開催。
 - 総会終了後には、総会開催記念セミナーの開催を予定。
- SONEQの正会員の拡大。九州の各自治体、支援組織との連携を強化し、地域企業や地元の研究者とのネットワークを構築。

■ SONEQ 会員向け講演会 ■

- 先進的な取組を進めている関係企業や有識者などを招聘して開催。年1～2回開催を予定。
- 講演会のテーマ候補（予定）は以下の通り
 - 太陽光発電に関連する最新の動向、政策情報
 - 地元の市民や企業が主体となる「コミュニティファンドによる太陽光発電システム設置」の動向
- 参加資格は正会員（無料）とメルマガ会員（参加費5,000円程度）
- 講演会終了後には、名刺交換会（立食パーティー）を開催

※平成24年度の開催実績は以下の通り。参加者は共に約60名（満席）

- ✚ 「太陽電池システム関連産業による今後の展開とその可能性（株）三愛 田村専務取締役、（株）モノトーン 中西代表取締役（株）安川電機 山田事業統括部長）」
- ✚ 「メガソーラーの法務と実務（バーカー&マッケンジー法律事務所 江口弁護士、森・濱田松本法律事務所 小林弁護士）」
- ✚ 「SONEQ フォローアップセミナー（株）フジクラ 舎川グループ長）」

※平成25年度の開催実績は以下の通り。参加者は共に約60名（満席）

- ✚ 「メガソーラー運営における実態と今後の課題（芝浦グループホールディングス（株） 代表取締役会長兼CEO 新地 哲己 氏）」
- ✚ 「メガソーラー運営におけるリスクとその評価（テュフ ラインランド ジャパン（株） 営業製品部 太陽光発電課 太陽光発電ラボラトリー 光成 彰志 氏）」
- ✚ 「SONEQ フォローアップセミナー（有）メガテック 代表取締役 伊達勇助 氏、（株）ブリヂストン 高機能フィルム開発第一部 技術サービスユニット 課長 服部 憲治 氏 他2名）」

■ 再生可能エネルギー先端技術展2014におけるセミナー開催 ■

- 平成25年10月8日（水）～10日（金）に開催される「再生可能エネルギー先端技術展2014」において、太陽光発電セミナーを開催
- 太陽光発電に関する動向等に加え、太陽光以外の再生可能エネルギーに関する講演も開催予定。

■九州クリーンエネルギーフォーラムにおけるセミナー開催■

- 各県・政令市等の協力のもと、各地域のニーズに応じて、クリーンエネルギー分野に係る施策や先導事例等を紹介するセミナーを実施
- 対象となるクリーンエネルギーは、再生可能エネルギー（太陽光、風力、地熱、バイオマス、中小水力）、海洋エネルギー、水素エネルギー及びスマート化技術など

■各種広報活動■

<Web での情報発信（ホームページ構築/機能追加）>

- 会員限定情報の充実

<企業データベース構築・閲覧>

- SONEQ の正会員企業等、九州の太陽光発電関連企業のデータベースの充実
- 閲覧資格は正会員のみ

<メールマガジンでの情報配信>

- 太陽光発電産業に関する政策動向、公募情報、セミナー等の情報の配信
- 正会員に対しては、最新の政策情報を限定配信
- 2週間に1度を目安とした配信
- SONEQ 会員やアドバイザー（自治体、自治体の産学連携支援組織、産総研、NEDO 等）の協力によりコンテンツを収集
- 閲覧資格は正会員、メルマガ会員

<2014 年度版パンフレット製作等>

- SONEQ リーフレットの制作・印刷（平成 25 年度版リーフレットのアップデート）
- 正会員に対する配布や、ビジネスマッチング事業で活用
- 正会員・メルマガ会員の現状や SONEQ の取組に対する要望を把握するアンケートを実施

②展示会開催・出展

■PV EXPO2015 への出展補助■

- 「PV EXPO2015（東京）」（主催：リード・エグジビション ジャパン（株））での出展補助を実施（総予算 20 万円）。
- 正会員より出展者を募集し、幹事会社を選定。SONEQ 事業概要、平成 25 年度 SONEQ 研究会の成果物の展示・PR を実施するとともに、出展企業のビジネスマッチングをサポート。
- PV EXPO の来場者の特性を考慮し、基本的には B to B マッチングを想定。
- 参加資格（SONEQ ブースにおける PR）は正会員のみ

※前年度の「PV EXPO2014」では、平成 25 年度 SONEQ 研究会の成果物や、共同出展企業の製品を展示。3日間の開催で約 270 名が SONEQ ブースを訪問。

※3日間で、255 件の商談を実施。うち成約 10 件、成約見込み 31 件。

■九州クリーンエネルギーフォーラムにおけるビジネスマッチング■

- 各県・政令市等の協力のもと、各地域のニーズに応じて、クリーンエネルギー分野に係るビジネスマッチングを実施
- 対象となるクリーンエネルギーは、再生可能エネルギー（太陽光、風力、地熱、バイオマス、中小水力）、海洋エネルギー、水素エネルギー及びスマート化技術など

(2) 産業振興への取組

■SONEQ ものづくり技術・ビジネスモデル研究会■

- 関連製品の開発や技術の高度化、新しいビジネスモデルの提案・実証について、正会員希望者により構成される研究会を開催。
- 研究会は、昨年度からの継続1テーマと、新規募集する1テーマ、合計2テーマとする（予定）。
- 新規募集テーマについては、SONEQ 正会員による提案公募で決定。SONEQ 役員会内で「研究テーマ選定審査会」を立ち上げ、審査会がテーマを審査・選定する。
- 平成26年1月までに2回ないし3回開催。
- 参加資格は、提案公募・参加共に正会員のみ

※平成25年度は、SONEQ 研究会活動によって、再生可能エネルギー利用可搬型電動自転車ポートの実証実験が内定した。さらに、（一社）太陽光発電アフターメンテナンス協会（略称：PVams、代表理事：宗貞貴洋・（株）エオフィス代表取締役）が設立された。

■事業化アイデアコンテスト■

- 新製品や新ビジネスのアイデアのイメージは持っているが、それを検討事項として具体化していない/出ていない正会員企業を対象に開催する「アイデアのアピールの場」。
- SONEQ 幹事/アドバイザーの一部が審査員となり、アイデアをアピールする正会員、審査員らによりブレインストーミングを実施。
- 審査員は、アイデアをアピールした正会員に対して、「検討事項の具体化」のアドバイスを実施。
- 「検討事項の具体化」のアドバイスを受けた正会員は、その結果を用いて研究や実証、事業化への取組を進めるものとする。
 - 「事業化アイデアコンテスト」は、新たな事業活動の「芽」を生み出す取組

※平成25年度は2件が発表される。

※うち1件は、「太陽光発電・給湯一体化装置（BINARY・SOLAR）の事業化」（有限会社メガテック）。

※うち1件は、太陽電池モジュールへの高品質封止剤（EVA）活用によるローコスト化、及びメガソーラービジネスでのリスク低減のご提案（株式会社ブリヂストン）

■九州クリーンエネルギーフォーラムにおけるビジネスアライアンス研究会■

- 九州全域の企業・団体等から、クリーンエネルギー分野における新たなビジネスアライアンスのアイデアを公募・選定し、採択案件に関して、応募者を中心とする研究会を開催。具体的なビジネス展開等に向けた検討を実施する（2テーマ程度、各3回程度の開催を想定）。

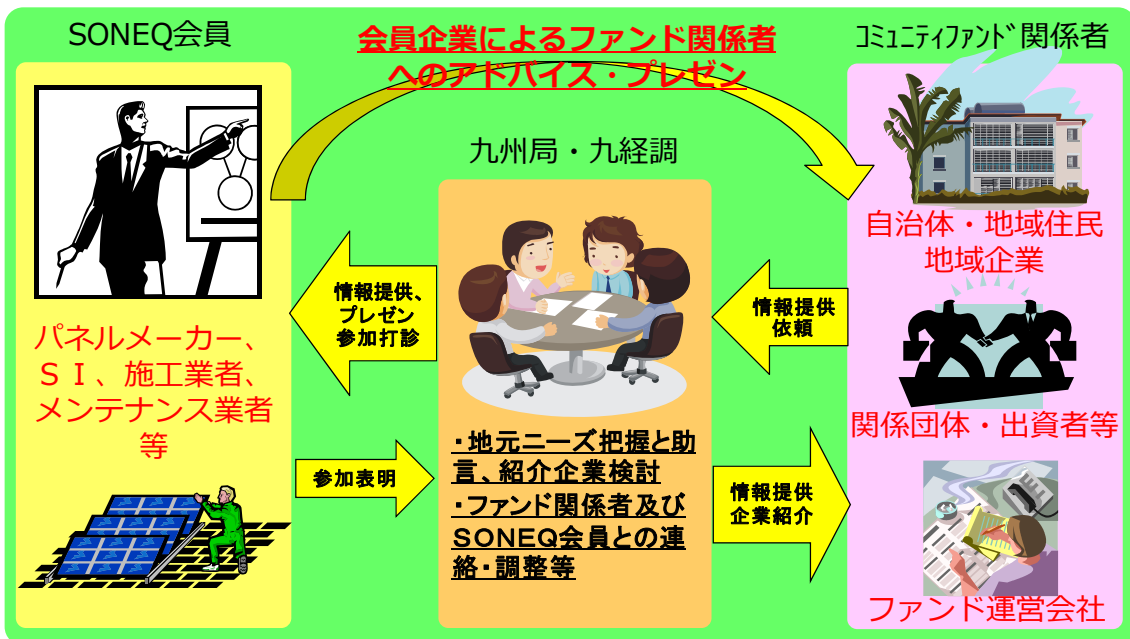
■他機関の支援内容等の紹介・連携支援■

- SONEQ 役員会アドバイザーに就任する組織、SONEQ 正会員との連携。組織が提供する補助金等支援内容の紹介等を実施。協力関係構築する組織は以下の通り。
 - (独) 産業技術総合研究所
 - (独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
 - (株) 日本政策投資銀行
 - (独) 中小企業基盤整備機構 (中小機構)
 - (財) 北九州産業学術推進機構
 - その他九州の自治体の産学連携支援組織 など
- SONEQ 役員会メンバーである企業や自治体の紹介

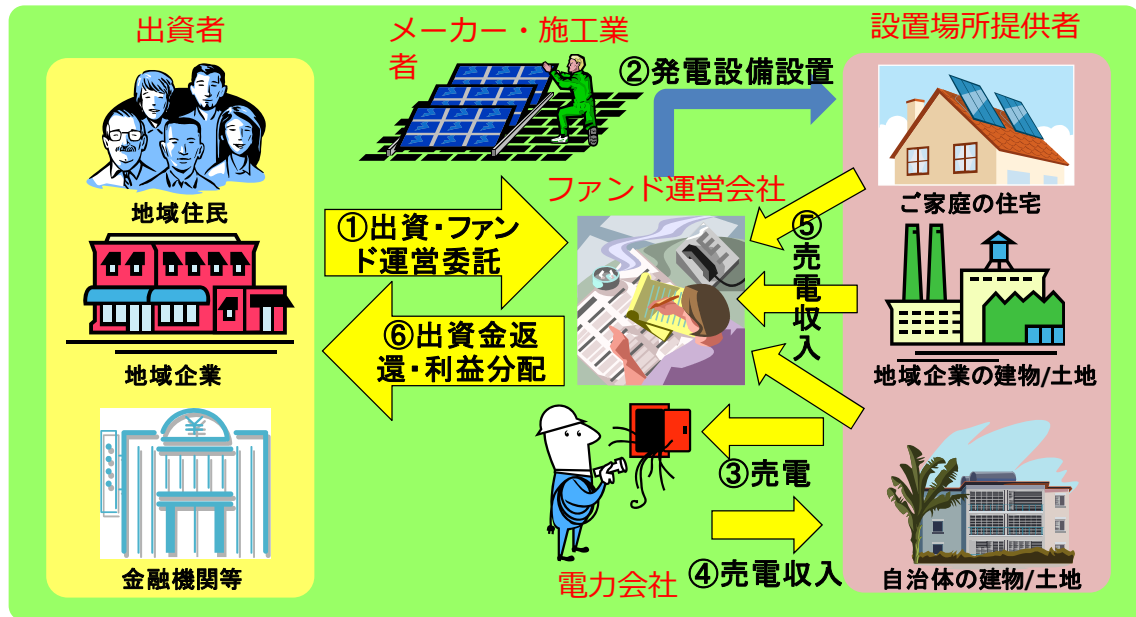
■コミュニティファンド活用型太陽光発電システム整備に対するサポート■

- コミュニティファンド活用による発電システムの実施・普及をサポートします。ファンド運営に関する支援に加え、発電事業や人材・施工・メンテナンス等の分野に SONEQ が積極的に協力し、会員企業に新たなビジネスチャンスを提供します。
- 今年度は、九州内に自治体に対しアンケート調査を実施し、コミュニティファンド活用による発電システムの導入意向を調査し、導入意向が強い自治体に対し、支援を実施します。

再エネコミュニティファンドと SONEQ の連携イメージ



再エネコミュニティファンドにおける発電設備の設置・運営スキーム



主なスケジュール

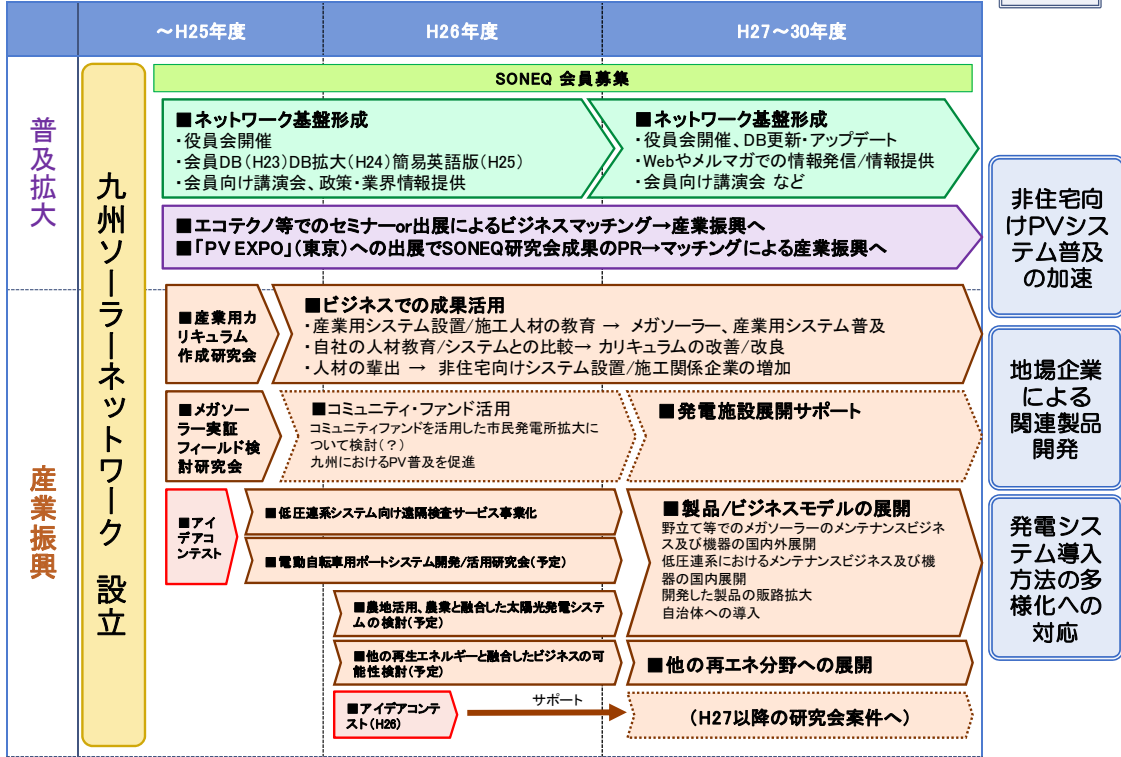
各事業名	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
広報活動(パンフ作成・HP管理・メルマガ・企業訪問等)	継続実施											
総会		●										
役員会		①						②				
総会記念セミナー		●										
研究テーマ選定審査会	テーマ募集											
SONEQ研究会(2~3テーマ)			①			②		③				
SONEQ会員向け講演会				①						②		
事業化アイデアコンテスト						テーマ募集		●				
PV-EXPO2015						共同出展社募集				●		
会員アンケート										●		
再エネリレーセミナー(再エネ展2014)						●						
九州局・SONEQ合同ブース出展(再エネ展2014)		共同出展社募集				●						
PVビジネスマッチング2014(再エネ展2014)		参加企業募集				●						
産総研九州オープンセミナー2014							●					
エネルギーフォーラム・セミナー&ビジネスマッチング			各県と協力し、九州内でセミナー・マッチングを開催							●		
エネルギーフォーラム・企業アライアンス研究会	研究テーマ公募・選定		●	①		②			③			
G電力基金・市民発電所検討ワーキング		●	アンケート後、有望自治体と継続的に協議									

平成 27 年度以降の事業展開

- 平成 27 年度以降は、引き続き SONEQ における各事業・取組を進めます。

SONEQ：平成27年度以降の事業展開（ロードマップ）

目標



非住宅向けPVシステム普及の加速

地場企業による関連製品開発

発電システム導入方法の多様化への対応